

ネイパル森

TEAM ネイパルそなえ隊

1 事業のねらい

防災に関わる様々な体験活動を通して、災害に対する備えや災害時に役立つ知識や技能を学び、災害発生時に主体的で安全に行動できる態度を身に付ける。

2 事業の概要

- 期日 R6.9.28(土)～29(日) 1泊2日
- 対象 小学3年生～中学3年生
- 人数 43名
- 場所 ネイパル森
- 協力 自衛隊函館地方協力本部、森町防災交通課

3 プログラム

	10:00	10:30	12:00	13:00	14:00	15:30	19:00	19:30	22:00	
9/28 (土)	受付	プロローグ	サイガーイからの攻撃 (防災クイズ)	昼食	体育館に寝床を準備せよ (避難所設営)	避難者を救え! (防災ゲーム・講話)	与えられた食材で空腹を満たせ! (グループで豚汁調理)	疲れた体を焚き火で癒せ! (火を囲んで振り返り)	入浴 就寝準備	就寝
	6:30	7:00	7:30	8:30	10:30	11:30	12:00			
9/29 (日)	起床	朝食	片付け	最終ミッション! (防災用品づくり)	エピローグ	閉会式	解散			

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 参加者の学習意欲を高めるためのプログラム構成
 - ・防災にあまり興味のない参加者でも意欲的に活動に参加し、主体的に行動できる態度を身に付けられるようにするため、ストーリー仕立ての構成とする工夫をした。
 - ・参加者は「パルレンジャー」として、職員が扮する「謎の組織サイガーイ」から課されるミッションをクリアし、ポイントを獲得するというゲーム性のある構成とした。
- 実際の災害発生時を想定した課題設定
 - ・子どもだけで避難所へ向かう場面を想定した防災ゲームや身の回りにある物を使った担架作りなど、災害時にすぐに役立つ知識や技能を学ぶことのできる課題を設定した。

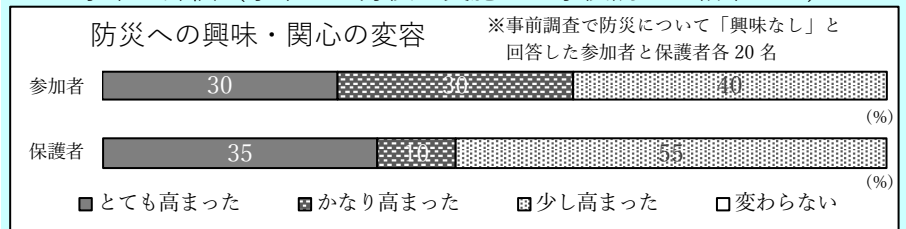


主体的に避難所を設営



講師による簡易担架づくり

5 事業の評価 (事業1か月後に実施した事後調査の結果より)



- 全ての参加者と保護者が興味・関心が高まったと回答した。
- 保護者に対する質問では、97.1%が「避難場所・経路の確認」や「備蓄品の充実」など、事業後に防災・減災に向けて実際に行動したと回答した。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 事後調査の結果から、参加者の防災に対する興味・関心を高めることができた。また、事業後に友達や家族に防災の話をしたり、備蓄について提案したりするなどの行動変容が多く見られるなど、主体的に行動する態度を身に付けることができた。
- 幅広い対象学年に対応するため、活動の難易度設定やボランティア等の支援体制について改善が必要である。



企画のポイント

参加者の学習意欲を高めるストーリー性のある構成と、災害時の行動につながる課題設定